



学校だより「城島」 第21号

2021年2月22日発行

久留米市立城島小学校
校長 樋口 恵子



もうすぐ卒業6年生～6年生が1年生のときをふり返ってみると…

朝と日中の気温差が大きく、本格的な春の訪れが待たれます。3学期の授業日数も残り22日(6年生は18日)となりました。6年生との日々が名残惜しく感じられます。

城島小の玄関前飾り棚(「友情人形ギャラリー」と呼んでいます)には、シュリーちゃんとジーニーちゃんがなかよく並んで、来校者を出迎え、子どもたちの学校生活を見守っています。城島小学校で大事にされてきたこのお人形たちには右の欄のような歴史があるのです。今の6年生は、新友情人形を迎えたときの1年生です。1年生なりに感じたこと考えたこと決意したことを次のように書いています。

新友情人形贈呈式
(6年生が1年生のときの感想)

シュリーちゃん、ひとりできみしいけれどジーニーちゃんが来たので二人になりました。せんそうがなくなりにしていろんな人となかよくなりたいです。(SR)

シュリーちゃんのおともだちをつれてきてくれてありがとうございます。シュリーちゃんはきつとよろこんでいるとおもいます。たいせつにします。(IH)

ほかのくにの人となかよくなりたいです。かんしゃしています。かわいいうじりーちゃんをもってきてくれて、ありがとうございます。(KH)

ジーニーちゃんをつれてきてくれてありがとうございます。にほんの人はほとんどがにんぎょうをこわしてもやしてすててしまい、ほんとうにすみません。でも、シュリーちゃんはせんそうでもいっしょうけんめいまもられたものなのでだいじにします。(MR)

本当に大変なこの1年間。6年生として過ごすには残念なことも、多かったけれど、できることを見つげながら、せいっぱいのがんばりを見せてくれました。1年生から

ジーニーちゃん シュリーちゃん



6年生までに出会ったたくさんの友だち・先生方・地域の皆さん・おうちの人との様々な出来事がみんなを成長させてくれました。そして、後に続く後輩たちのモデルになるような姿を見せてくれました。6年生と一緒に過ごす小学校生活、そして、統合前の仲間との小学校生活は残りわずかです。悔いの残らぬよう、「言葉で伝え合い高め合う子ども～笑顔・共感(共汗)・挑戦」を合い言葉にがんばっていきましょう。

3月 行事予定



- 1日(月) 6年生校外学習
- 2日(火) 委員会活動
- 3日(水) 地域児童会、6年生を送る会、お別れ遠足
- 8・9日(月・火) 交流授業(1～5年生)
- 9日(火) スクールカウンセラー来校
- 16日(火) 6年修了式、卒業式準備(4、5年)
- 17日(水) 卒業証書授与式(1年～4年生休校)
- 22日(月) 給食終了
- 23日(火) 修了式 (学校統合準備作業等のため1日早くなっています)

本年度最後の学級懇談会においでください。



25日(木)は、6年生の最後の参観と全学年の学級懇談会です。緊急事態宣言の延長に伴い、3密を避けるために5年生までの授業参観を中止せざるを得ず、大変申し訳なく、残念に思っています。

懇談の内容や写真等により、お子様をはじめ、学級全体の成長をお知らせしていきます。多数のご参加、よろしくお願いいたします。また、12月に行った学習実態調査についての結果を一人ひとりにお渡しします。子どもたちに学力をつけていくための一つの大切なものさしと受け止め、今後学校や家庭で取り組むことを確かめ合ひましょう。ご来校をお待ちしています。(4年生は懇談会が重なる方のために終了後、もう一度映像を流します)

青い目の友情人形の話

おうちの方が知っておられることも話していただくと幸いです。

青い目の人形(友情の人形) 元城島小学校 先生方の話より

城島小学校の青い目の人形は、一九二七(昭和二)年にアメリカから友情人形として日本の子どもたちに贈られた一万二千体の中の一つです。(今では県内に三体となっています。)人形は、まだ珍しい洋服を着ていました。起こすとつぶっていた目を開けながら、かわいい声を出すこと、人形の目が青かったことなど、子どもにとっては珍しく新鮮でした。

一九四一(昭和一六)年、アメリカとの戦争が始まり、敵の国のは焼却される状況になりました。城島小学校では、「人形には罪はない」と考えて、押し入れの隅に隠され、焼かれたり壊されたり、取り上げられることなく守られてきました。

ただ、一九五三(昭和二八)年の水害では、水浸しになったため、パスポートは流され、ドレスも着替えもぼろぼろになってしまいました。そのため、職員の手で新しい洋服を作り着替えさせてもらいました。

一九二七(昭和二)年から平和のシンボルとして、ほほえみを絶やさない青い目の人形は、一番見たくない戦争を経験し、恐ろしい水害も体験しました。しかし、今でもほほえみを絶やさず、私たちに平和の尊さを教え続けています。きっとこれからも変わらないでしょう。

二〇〇四(平成一六)年、「平和について考える集会」で、当時の牟田口校長先生から、この話が紹介されました。アメリカと日本が人形をやりとりし、大事にしようとした優しい気持ちがあれば、戦争は起こらないという内容でした。そして、代表委員会で話し合い、「酒の里」にちなんで、シュリーちゃんと名付けました。今でも、城島小学校では、友情人形に込められたアメリカの人の思い、戦禍から友情人形を守り抜いた当時の先生方の平和への願いなど、歴史の重みを感じながら大切なことを学び続けています。

二〇一五(平成二七)年には、友情人形を贈られた方のお孫さんが、シュリーちゃんを守り抜き、今も大切にしている城島小学校に感激をされ、「新友情人形・ジーニーちゃん(城島のJにちなんで)」が届けられ、「新友情人形贈呈式」が行われました。パスポートの有効期限は「永遠」と記されています。このときの1年生が、今年卒業を迎える6年生です。